

1 調査の目的

- (1) 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握、分析することにより、教育及び教育施設の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善策に役立てる。

2 結果の公表内容

羽生市では、教育に関する情報を、教育委員会や学校が市民の皆様と共有し、子どもたちの「生きる力」を育てる当事者として参画していただくことが重要であると考え、教科に関する調査の結果の概要と質問紙調査の一部の内容について公表することにしました。

なお、各学校の結果につきましては、本調査で測定できるのが学力の特定の一部の結果であることや、学校間の序列化や過度な競争への配慮から、国、県の方針に基づき公開しておりません。

3 調査実施日・対象とする学校及び児童生徒

- | | | | |
|-----------|---------------|-----|----------|
| (1) 調査実施日 | 平成21年4月21日(火) | | |
| (2) 対象学年 | 羽生市内小学校 | 11校 | 第6学年 全児童 |
| | 羽生市内中学校 | 3校 | 第3学年 全生徒 |

4 調査内容

- (1) 教科に関する調査
 - ア 主として「知識」に関する問題 【国語A、算数・数学A】
 - ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
 - ・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など
 - イ 主として「活用」に関する問題 【国語B、算数・数学B】
 - ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容
 - ・様々な問題解決のために構想を立てて実践し、評価・改善する力などにかかわる内容 など
- (2) 生活環境や学習環境に関する質問紙調査
 - ・学習意欲、学習方法、生活の諸側面等に関する調査

5 教科に関する調査結果の概要

(1) 小学校

国語A (主として「知識」に関する問題)

- 羽生市の平均正答率は、全国・県平均と同様な結果でした。
- 「話すこと・聞くこと」については全国・県平均を下回り、「書くこと」「読むこと」「言語事項」については全国・県平均と同様な結果でした。
- 「漢字を書く・読む」「文章の内容に合わせて、小見出しを書く」ことについては良好ですが、「ローマ字の読み・書き」「接続語を使って、一文を二文に分けて書く」ことに課題があります。

国語B (主として「活用」に関する問題)

- 羽生市の平均正答率は、全国・県平均と同様な結果でした。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「言語事項」については、全国・県平均と同様ですが、「読むこと」については、全国・県平均をやや下回っています。
- 「目的や意図が伝わるように話の組み立てを工夫しながら説明する」ことは良好ですが、「報告文を読み、調べて分かったことをまとめて書く」ことに課題があります。

算数A (主として「知識」に関する問題)

- 羽生市の平均正答率は、全国・県平均をやや下回る結果でした。
- 「数と計算」については全国・県平均をやや下回り、「量と測定」は全国・県平均と同様で、「図形」「数量関係」については全国平均を下回っています。
- 「整数や小数の計算」については、おおむね良好ですが、「長方形・直角三角形の定義や性質」「百分率を求める」ことに課題があります。

算数B (主として「活用」に関する問題)

- 羽生市の平均正答率は、全国・県平均をやや下回る結果でした。
- 「数と計算」「量と測定」「図形」については、全国・県平均をやや下回り「数量関係」については全国・県平均と同様な結果となっています。
- 「整数と小数の加法を用いて重さを求める」ことや「グラフから必要な数量を読み取る」ことは良好ですが、「筋道を立てて考え、事柄が一般的に成り立つ理由を説明する」「重さの割合の大小関係を判断し、その理由を説明する」ことに課題があります。

【今後の指導のポイント・国語】

- ローマ字の学習では、ローマ字の読み・書きの練習を増やしていきます。
- 目的に応じて、文章や発表内容をメモに取る力を高める学習の充実を図ります
- 目的や意図に応じて、事実や意見などを関連付けて書いたり、発表したりする学習の充実を図ります

【今後の指導のポイント・算数】

- 基本的な四則計算については、今後も習熟が図れるよう指導していきます。
- 学習問題について、筋道立てて考え、自分の考えを書いたり、発表したりする学習の充実を図ります。

(2) 中学校

国語A (主として「知識」に関する問題)

- 羽生市の平均正答率は、全国・県平均と同様な結果でした。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「言語事項」については、全国・県平均と同様でしたが、「書くこと」については、全国・県平均をやや下回っています。
- 「効果的なスピーチの仕方を工夫する」「自分の意見を伝えるために適切な材料を選ぶ」「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う」ことについては良好ですが、「主語に合わせて、述語を適切に書く」「文章の表現の仕方や特徴に注意して、内容を正確に読み取る」ことに課題があります。

国語B (主として「活用」に関する問題)

- 羽生市の平均正答率は、全国・県平均と同様な結果でした。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」については、全国・県平均と同様な結果でした。
- 「表現の仕方や文章の特徴をとらえる」「資料に表れている工夫を自分の表現に役立てる」ことについては良好ですが、「文章の展開をとらえ、段落の役割を理解する」「文章から必要な情報を読み取り、簡潔にまとめて書く」ことに課題があります。

数学A (主として「知識」に関する問題)

- 羽生市の平均正答率は、全国・県平均と同様な結果でした。
- 「数と式」「図形」「数量関係」については、全国・県平均と同様な結果でした。
- 「比の意味」「等式の性質と移項の関係の理解」「点対称と線対称の図形の理解」「同位角の意味」については良好ですが、「指数の計算の仕方」「一元一次方程式をつかって問題を解決する」「連立二元一次方程式の計算」などに課題があります。

数学B (主として「活用」に関する問題)

- 羽生市の平均正答率は、全国・県平均と同様な結果でした。
- 「数と式」「図形」「数量関係」については、全国・県平均と同様な結果でした。
- 「2つの線分が平行になることを三角形の合同を利用して証明する」については良好ですが、「不確定な事象についての予想を実験で確かめるための方法を考える」ことに課題があります。

【今後の指導のポイント・国語】

- 文章の表現に注意しながら読み取った内容を書いたり、発表したりする学習の充実を図ります。
- 文章の要旨を短い文章や箇条書きにする学習の充実を図ります。

【今後の指導のポイント・数学】

- 「一元一次方程式」「連立二元一次方程式」について、計算のやり方を理解させるとともに、計算の習熟が図れるように指導します。
- 学習問題について、筋道を立てて理由を考えたり、話し合ったりする学習の充実を図ります。

6 質問紙調査の結果

調査の結果は、全調査項目から、主に家庭での生活や学習に関わる項目を取り上げて結果を示しました。

(1) 小学生

No	質問項目	市平均	県平均	全国平均
1	毎日朝食を食べている	96.9	96.9	96.0
2	持ち物を前日または当日の朝に確かめている	91.0	90.0	86.5
3	家の手伝いをしている	83.5	80.6	78.5
4	家で学校の宿題をしている	98.8	96.8	95.5
5	家で自分で計画を立てて勉強をしている	59.0	57.8	54.7
6	学校のきまり（規則）を守っている	90.4	91.0	87.3
7	友達との約束を守っている	96.9	97.4	95.8
8	近所の人にあいさつをしている	90.0	88.9	82.7
9	人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている	93.2	93.0	91.9
10	難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している	78.1	76.9	74.1
11	自分には、よいところがあると思う	79.6	77.5	74.6
12	将来の夢や目標をもっている	88.2	88.3	86.3
13	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）1日あたり1時間以上勉強をする。	56.6	57.7	57.2
14	普段（月～金曜日）1日あたり30分以上読書をする	35.6	36.7	35.2
15	普段（月～金曜日）1日あたり3時間以上テレビやビデオ、DVDを見たり、聞いたりする	48.9	46.3	45.7
16	普段（月～金曜日）1日あたり2時間以上テレビゲームをする	24.0	22.2	23.4

※ 結果は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値 単位は%

【調査結果から分かる特徴】

- 家庭生活についての質問については、全国・県平均と同様な結果となっている項目が多くなっています。「家で手伝いをしている」「近所の人にあいさつをしている」は、全国・県平均をやや上回っています。
- 家庭での学習については、「家で宿題をしている」は、全国・県平均を上回っていますが、「家庭での勉強時間」は、全国・県平均をやや下回っています。
- 「テレビやビデオを見る時間」や「ゲームをする時間」は、全国平均をやや上回っています。

【家庭生活の改善点】

- 家庭学習について家族で話し合い、進んで家庭学習する習慣を身に付けさせることが大切です。
- テレビやゲームについては、家庭で話し合い、時間を決めることが大切です。
- 今後も、進んで地域の人にあいさつをしたり、家庭で手伝いをしたりして、家族や地域の人とのつながりを深めていくことが大切です。

(2) 中学生

No	質問項目	市平均	県平均	全国平均
1	毎日朝食を食べている	93.3	93.0	92.4
2	持ち物を前日または当日の朝に確かめている	85.2	82.7	83.8
3	家の手伝いをしている	58.7	62.5	63.0
4	家で学校の宿題をしている	72.1	74.5	83.0
5	家で自分で計画を立てて勉強をしている	37.4	37.8	37.9
6	学校のきまり（規則）を守っている	87.7	87.3	88.6
7	友達との約束を守っている	96.7	95.8	96.1
8	近所の人にあいさつをしている	76.1	82.7	83.0
9	人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている	91.1	91.9	91.9
10	難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している	58.0	61.5	62.1
11	自分には、よいところがあると思う	58.7	59.4	61.2
12	将来の夢や目標をもっている	70.1	71.2	71.0
13	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）1日あたり1時間以上勉強をする。	67.3	67.1	65.7
14	普段（月～金曜日）1日あたり30分以上読書をする	24.2	27.2	26.6
15	普段（月～金曜日）1日あたり3時間以上テレビやビデオ、DVDを見たり、聞いたりする	40.8	38.1	38.0
16	普段（月～金曜日）1日あたり2時間以上テレビゲームをする	20.6	20.2	21.0

※ 結果は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値 単位は%

【調査結果からわかる特徴】

- 家庭生活について、「家で手伝いをしている」「近所の人にあいさつをしている」は、全国・県平均を下回っています。
- 家庭での学習について、「家庭での勉強時間」は全国・県平均より上回り、「家で計画を立てて勉強をしている」は全国・県平均と同様ですが、「家で宿題をしている」は、全国・県平均を下回っています。
- 「難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦する」「自分にはよいところがある」は、全国・県平均をやや下回っています。
- 「テレビやビデオを見る時間」は、全国・県平均をやや上回っています。

【家庭生活の改善点】

- 進んで地域の人にあいさつをしたり、家庭で手伝いをしたりする機会を増やして、家族や地域の人とのつながりを深めていくことが大切です。
- 家庭で学習や生活について会話する機会を増やして、子どもたちのよさを発見したり、認めたりすることが大切です。
- 家庭で、時間を決めて学習する習慣を身に付けることが大切です。